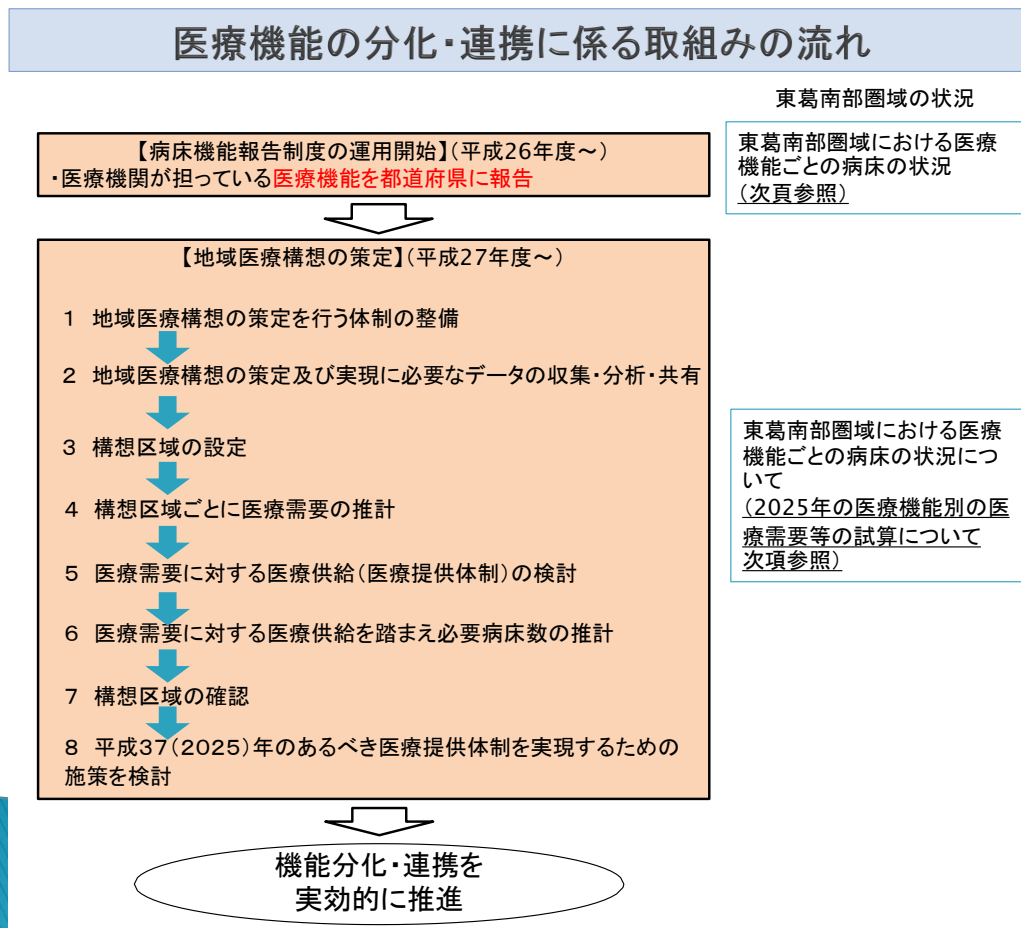


**病床機能報告の状況と必要病床数の  
推計結果  
(東葛南部保健医療圏)**

# 地域医療構想の策定状況

平成26年度より病床機能報告制度が運用開始され、各医療機関の現状及び6年後の医療機能ごとの病棟単位の状況が報告された。また千葉県では平成27年度より、地域医療構想を策定しており、**2025年（平成37年）における医療機能別の必要病床数**が医療圏ごとに推計されている。

## 医療機能の分化・連携に係る取組みの流れ



出展：地域医療ビジョンを実現するために必要な措置

(必要な病床の適切な区分、都道府県の役割の強化等) 及び新たな財政支援制度の創設について (社会保障審議会医療部会 資料)

# 医療需要及び必要病床数の考え方

## (1) 医療需要について

○ 2025年(平成37年)における病床機能区分ごとの医療需要(推計患者数)は、構想区域ごとの基礎データを厚生労働省が示し、これを基に都道府県が構想区域ごとに推計します。

## (2) 必要病床数について

○ 上記(1)で算出した医療機能ごとの医療需要(推計患者数)を病床稼働率で割り戻して、2025年における必要病床数を構想区域毎に推計します。

## 東葛南部圏域における医療機能ごとの病床の状況

東葛南部保健医療圏については、「2025年の医療機能別の医療需要の試算について」によると病床数全体では増床の必要性があり、特に回復期病床についての不足が予想されている。船橋市立医療センターに関わる高度急性期病床及び急性期病床については、ほぼ現状維持の状況である。

